

# 復興へ、ともに ⑨

このコーナーでは全国の地方公共団体から南三陸町に派遣されている職員を紹介します。



氏名 <sup>さか もと あき ひと</sup> 坂元 昭 仁  
派遣元 宮崎県都城市  
所属 復興事業推進課  
(都市計画事業班)

10年程前に、友人を訪ねてこの宮城まで旅行に来たことがありました。飛行機と新幹線を乗り継ぎ、当時1歳10か月の娘と2人で、オシメを替えながらの父親修行でした。その地へ今回、職場や家族の理解のもと、単身お世話になっています。1日も早い復興のために、今後も継続的な支援の必要性を強く伝えていきたいと考えています。



氏名 <sup>どう りょう へる ゆき</sup> 堂 領 春 行  
派遣元 宮崎県都城市  
所属 復興事業推進課  
(防災集団移転促進事業班歌津駐在)

南国（Mの国）、宮崎県都城市から派遣職員として、昨年4月よりお世話になっています。地域の方からお礼と励ましの言葉をいただきながら、歌津地区の高台移転に関する業務を担当しています。南三陸町民の方々が、1日も早く元の生活を取り戻せるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



氏名 <sup>さい とう たけ ひこ</sup> 齊 藤 岳 彦  
派遣元 宮崎県日向市  
所属 復興事業推進課（都市計画事業班）

初めて南三陸町を訪れたのは、震災から1年後でした。目を疑うような光景の中、町民の皆さんの復興に向ける前向きな姿勢に深い感銘を受けました。現在は、皆さんの温かさに触れながら、素晴らしい仲間とともに復興業務に取り組んでいます。復興には時間がかかると思いますが、その先にある南三陸町のため頑張りますので今後ともよろしくお願ひします。



氏名 <sup>よし もと きよ ただ</sup> 吉 元 聖 太 だ  
派遣元 宮崎県小林市  
所属 復興企画課（復興政策係）

口蹄疫や鳥インフルエンザといった大規模な家畜伝染病の際に、全国の皆様よりご支援をいただきました宮崎県より参りました。港や商店街などで、復興を目指し地道に歩み続ける皆さんの姿に感銘を受ける日々です。3月までの任期となりますが、残された期間の中で、復興のお役立てができるよう精励いたします。



氏名 <sup>あ べ けん じ</sup> 阿 部 竜 二  
派遣元 兵庫県  
所属 産業振興課（水産業振興係）

昨年10月、兵庫県からきました阿部です。東北の冬の厳しさと人々の温かさを感じながら日々過ごしています。18年前、阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を受けた兵庫県は、国内外からの多大なご支援により、創造的復興を遂げました。当時のご恩をお返すため、東北の復興を願う兵庫県民を代表し精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。



氏名 <sup>さ さ き まさ る</sup> 佐々木 潤  
派遣元 長野県諏訪郡原村  
所属 生涯学習課（生涯学習係）

平成の森に飾ってある白い狸を寄贈した原村より派遣職員として10月からお世話になっております。被災された方を原村にご招待したご縁があり、今回こちらに来させていただきました。現在は発掘調査等を中心に文化財を担当しており、集団移転に伴う新井田館の発掘調査が2月以降始まる予定です。被災された方にできるだけ早く住宅をご用意できるよう精一杯尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひします。

## 編集後記

▶新しい年がスタートしました。今年は防災集団移転促進事業の造成工事などもはじまり、目に見える復興が本格化しはじめる年になると思います。個人的にも、今年こそはいい年でありたい、そう願っています。

▶今月号の表紙は、先月16日に入谷公民館で開催された「しめ縄づくり体験教室」の様子を採用させていただきました。取材に行こうと計画していたのですが、当日は衆議院議員総選挙の投票開票の業務のため断念し、入谷公民館の職員の方に撮影をお願いしました。急なお願いでしたが、何かいつもより良い写真が撮れたような気が…皆さん、今年もよろしくお願ひします。

担当 畠山

## わが家のアイドル



はる き 関内 晴 貴 くん

(◎林際)

平成24年4月1日生まれ

パパ 幸久さん

ママ 望未さん

### おうちの方より一言

あなたの笑顔でたくさんの人を幸せで包んであげてください。パパとママのところに生まれてきてくれてありがとう。